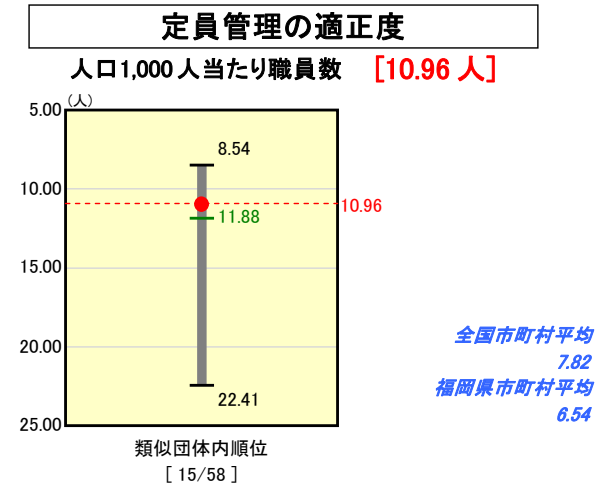
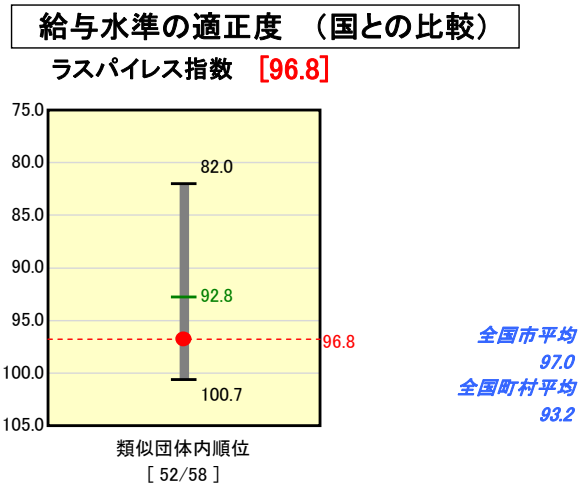
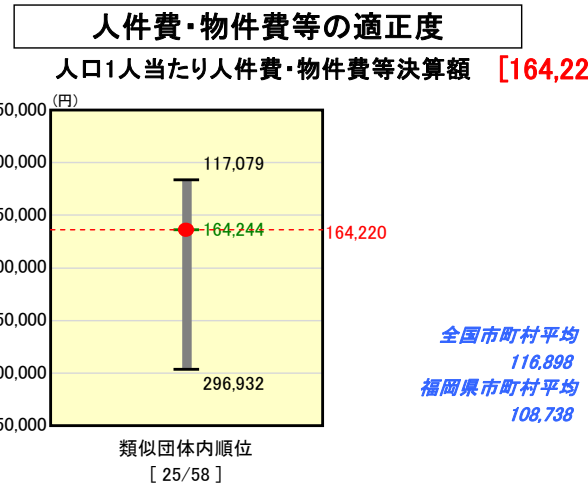
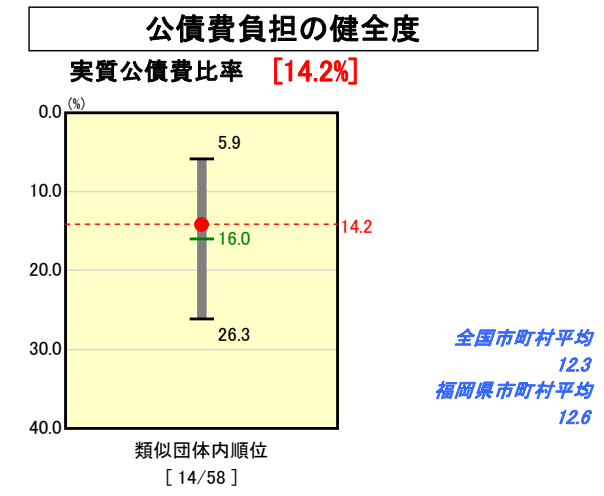
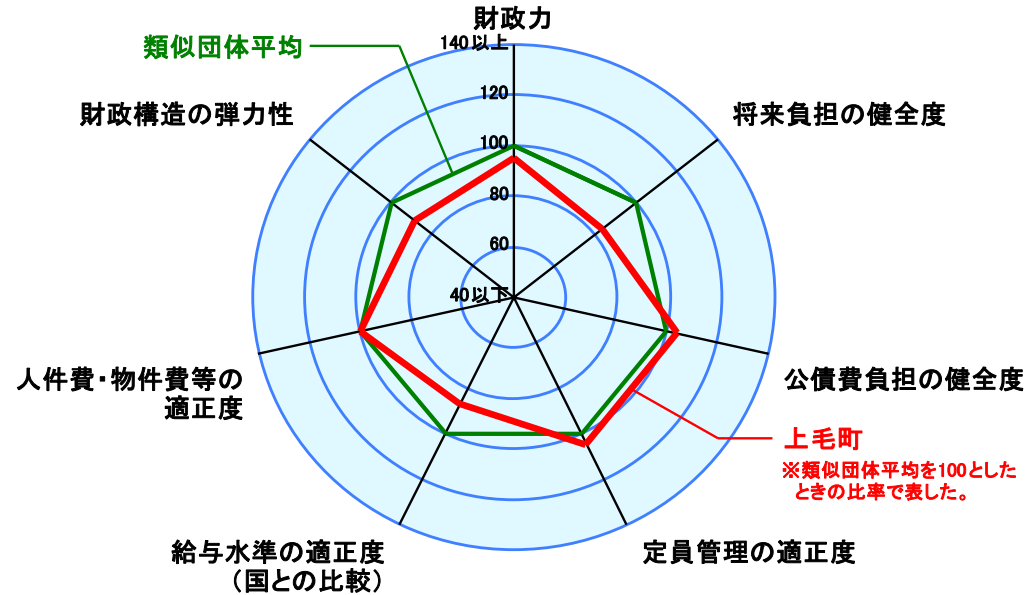
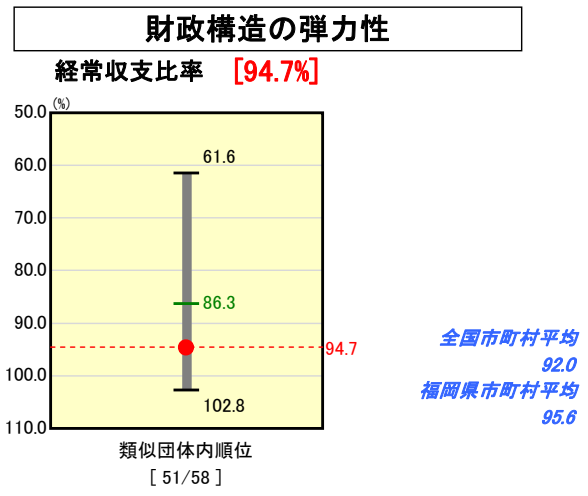
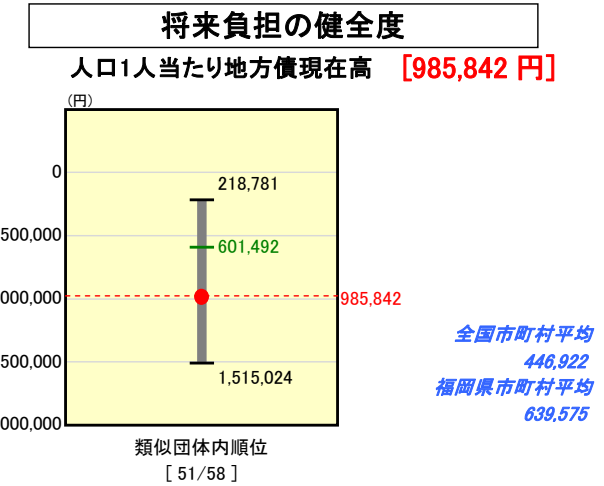
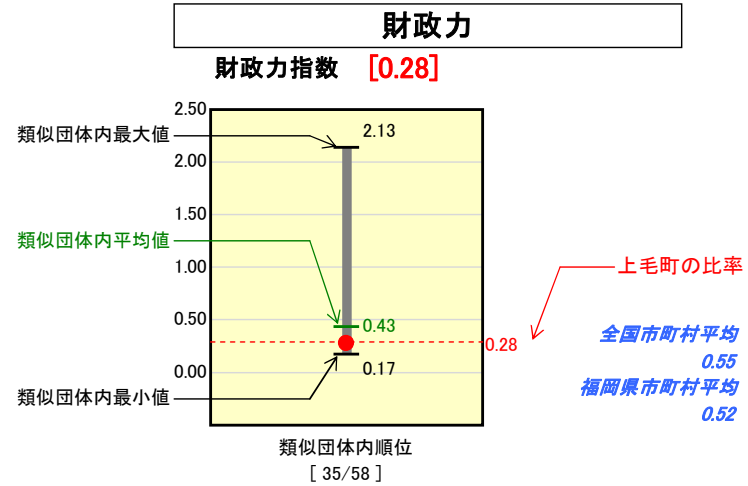


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 福岡県 上毛町

人口	8,395 人(H20.3.31現在)
面積	62.40 km <sup>2</sup>
歳入総額	4,843,055 千円
歳出総額	4,619,577 千円
実質収支	204,078 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

- 財政力指数  
上毛町集中改革プラン及び財政健全化計画に基づき、行財政改革を推進し、今後は、企業誘致等により自主財源の確保に努め、財政力の強化を図る。
- 経常収支比率  
経常経費の削減により前年度と比較して1.0ポイント低下し94.7%となっている。しかし、類似団体平均との比較では8.4ポイント高くなっている。主な要因は、扶助費、公債費等の義務的経費の割合が高いためである。今後は、財政健全化計画に基づき、地方債の発行を抑制し公債費の縮減に努め経常経費の削減を図る。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額  
類似団体平均と比較してほぼ同等となっているが、物件費については、文化財発掘調査員賃金等により高くなっている。今後は、財政健全化計画に基づき、物件費の抑制に努め財政健全化に向けた取組を行っていく。
- ラスパイレス指数  
小規模な団体ほど職員構成の偏在等により、一概に給与水準を比較できないが、全体的には適正化は進展している。今後は、定員適正化計画で定めている職員の削減目標の達成に努め、更なる適正化に向けて一層努力する。
- 人口1人当たり地方債現在高  
類似団体の平均を大きく上回っている要因は、平成10年から平成14年にかけて実施した大規模事業(温泉館整備事業等)及び過疎債・辺地債の借入れによるものである。今後は、財政健全化計画に基づき、計画的に事業を実施することで、単年度の地方債発行額を抑制し、地方債現在高及び公債費の縮減に努め、財政負担の軽減を図る。
- 実質公債費比率  
類似団体平均を下回っており、今後5年間の地方債償還額から推計すると、平成22年度をピークに減少に転じていく。今後も地方債の発行を抑制し、将来の財政負担の軽減に努め、財政の健全化を図る。
- 人口1,000人当たり職員数  
類似団体の平均を下回っているが、財政事情を勘案すると更なる定員削減を推し進める必要がある。今後は、住民サービスを低下させることなく、定員適正化計画に基づき、減員目標(平成18年4月1日職員数103人→平成28年4月1日職員数82人)達成に努める。